

ビデオマイクロスコーピーに関する実験技術法講座の連載にあたって

日本生理学会教育委員会

委員長 栗原 敏

これまで、この生理学実験技術法講座ではパッチクランプ法、細胞内 Ca イオン濃度の光学的測定法を連載し会員の皆様から好評を得てきた。これらのシリーズに続いて、ビデオマイクロスコーピーに関する実験技術法講座の連載を立案したところ、日本生理学雑誌編集委員会の賛同を得て連載する運びとなった。

ビデオマイクロスコーピーは、夏期に生理学研究所で行われている生命科学実験技術トレーニングでも実習に取り上げられた。ビデオマイクロスコーピーは、光学顕微鏡を用いて得られる画像をビデオカメラで捉えることによって画像信号に変換してから、その画質を画像処理装置により改善して、生理現象を画像として観察する手法である。この方法により、これまで光学顕微鏡では観察が困難であった生体標本の微細な形態変化をリアルタイムで見ることが可能となった。この研究方法の導入により新しい知見が次々に得られている。

この実験技術法講座は、生理学研究所に在籍してトレーニングコースで実際にご指導いただいた、寺川 進教授(浜松医大)に企画していただき、執筆者各位に原稿をお願いしたところ快くお引き受け下さり連載が始まることになった。寺川教授はじめ、執筆者各位にこの場をおかりして厚く御礼申しあげる。